

JA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる

新函館

2

February
2020

No.210



道南を農す

せたな町 藤谷 剛さん

- 2 道南を農す
せたな町 藤谷 剛 さん
- 4 女性部日誌
JA新はこだて女性部
江差支店女性部
笠原 幸子 部長
- 5 となりの農家さん
江差 小林 増夫 さん
- 5 月替わり連載企画
～我が家のペット[第1弾]～
鶉の「うずくん
- 6 トピックス
第9回知内生活工夫展
水稻除草の技術検討会を実施 他
- 7 JAグループ通信
- 8 あぐりレッスン(渡島)
- 10 インフォメーション
川瀬工房の『フリル』が農水大臣賞
企画管理・信用共済委員会視察研修 報告
営農販売・経済委員会視察研修 報告
- 12 理事会報告
第22回道南農業新技術発表会
- 13 みんなのまるめ郎広場
地区別農業法人設立研修会
特殊詐欺防ぎ感謝状
- 14 シェフ永井のおすすめ
カブと鶏肉のあんかけ



夏は放牧していますが、冬は牛舎で飼育しますので、一日3回ほど餌をやっています。

13年くらい飼っている愛犬の「くっきー」。名前を呼ぶとカメラ目線になって、とても人懐っこい。



角の無い品種のヤギを飼っていて、名前は「おちびちゃん」。生き物の世話は家族全員で空いた時間にやっていること。

つよし 剛さん(右)と父の和哉さん(真ん中)、母の容子さん(左)、愛犬の「くっきー」。



せたな町北檜山区

ふじたに つよし
藤谷 剛さん(26)

乳牛 32頭

「天氣の良い日に外で体を動かすのはとっても気持ち良いです」

就農までの経緯を教えてください。

函館市の工業高等専門学校を卒業後、東京のIT企業に3年勤めました。その後、静岡県浜松市の牧場で1年間働き、昨年の4月から実家に戻り就農しました。

就農を決めた理由はなんですか？

東京でシステムエンジニアとして働いていた時、今後一生の仕事にするなら『東京でサラリーマン』か『実家で就農する』のかを真剣に考えました。その結果、地元で酪農をやりたいという気持ちの方が強く、自分には合っているのではないかと思い、実際に牧場で働いた後も、その気持ちは変わりませんでした。

実家に就農した感想をお聞かせください。

私が中学校に入学する2006年に、父がせたな町に新規就農し酪農を始めました。当時、牛舎での作業などを手伝っていたこともあり、就農後の作業も違和感なく行うことができました。

システムエンジニア時代と比べても、夜遅くまでの仕事もなく、体を動かすことができ、すごく健康的な毎日を送れているので満足しています。

日々の作業の中で意識していることはありますか？

牧場での研修、作業を手伝った経験が多少あるだけで、まだまだわからないことだらけです。そんな中でも牛を観察することは特に

意識し、体調の変化などを敏感に感じ取れるようになっていきたいと思います。

今後、身につけたい知識や技術はありますか？

放牧酪農を行っていることもあり、草地の有効的な利用や管理方法を学びたいと思っています。今はまだ親もいて、時間の融通も利きますので、親から学べるものは学び、今の内に勉強会や説明会にも積極的に参加して、今後の自分の方向性を定めていきたいと考えています。

今年のホットな話題はありますか？

今年の春に東京で知り合った女性と結婚を予定しています。実家のすぐ近くには新居も建て、新生活が始まります。

また、私や家族は生き物が好きで、家では鶏やヤギ、犬、猫を飼っています。新生活がスタートし、落ち着いてからはなると思いますが、個人的に羊も飼ってみたいです。

最後に、好きな乳製品を教えてください。

チーズが大好きです。道南の美味しいチーズを探して食べるのを楽しんでいます。将来的には自身で搾った生乳からチーズを作ってみたいと思います。

ラインで「JA新はこだて」とお友達になろう！

LINE@

●発信情報

- ・営農や資材情報
- ・当農協主催のイベント等

友達登録はこちら



▼「体調に気をつけてゆっくりと暮らしていきたい」と話す小林さん。



となりの農家さん

江差

日々の管理を徹底

小林 増夫さん（79） 肉用牛

江差町小黒部町の小林増夫さんは奥さんと2人で、繁殖牛12頭、育成牛10頭、計22頭の牛を飼育している。他にも米を3町作付している。日々の作業の中で気を付けていることは「第一は自分の健康管理です。毎日が農作業になるので、怪我等に注意をしながら取り組んでいます。第二に牛

の体調管理です。毎日の見回り・餌やり等で、牛の体調の変化を見逃さないように心がけています」と話した。

今後については「やりたいことや希望は特にありませんが、健康で体の許す限りはこのまま農家を続けていきたいです」と語ってくれた。

（取材 厚沢部支店 若山 耕太）

女性部図誌

～『食』と『農』を守る輝くレディー～

JA新はこだて
江差支店女性部

JA新はこだてには、各支店に全11の女性部があります。各地区の女性部が集結してイベントを開催したり、その地域ならではの活動があったりと、楽しいイベントが毎年行われています。今回はその活動を知るべく、女性部員にインタビューしました。

●今後、挑戦したい活動はありますか？

依頼があった際には地域の子どもたちに「こうれん」の作り方を教えたりもしていました。伝統食を地域の若い世代に伝えられるような活動を行いつつ、伝統食「こうれん」を広めていければと思います。

**伝統食
「こうれん」を
守り続けます。**

笠原 幸子さん
江差支店女性部 部長



●特に印象強い活動を教えてください。

毎年行う「こうれん」作りです。6月に計4～5回に分けて作る「こうれん」は、40年以上前から地域に伝わる農家の伝統食として、今も作り続けています。数年前にテレビで紹介されてからは、人気が沸騰し、一時生産が追い付かない状況でした。昨年はアルバイトを雇ったこともあり、現在は道の駅などで通年販売できています。江差町のお土産として徐々に定着してきているようで大変嬉しく思っています。

「こうれん」はもち米を使った餅を薄く伸ばし、2日間天日干します。中でも餅を伸ばす作業が大変ですが、その分、完成したときの喜びは「ひとしお」です。焼いたり、揚げたりして食べると美味しいですよ。

●部長として心掛けていることはなんですか？

「こうれん」作りや各種イベントへの出店など、多くの部員に参加してほしいので声掛けは積極的に行うようにしています。しかし、子育て世代を中心に忙しくてなかなか長時間、家を空けることができない人もいますので、無理をしない範囲で来てもらえるように意識しています。

年間の主な活動					
2月	2月	11月	11月	10月	7月
通常総会	鍋まつり	女性農業者グループまつり出店	視察研修	大収穫感謝祭inあつさふ2019出店	花埋み研修会参加
					「こうれん」作り



●飼いはじめた経緯を教えてください。

友人から「スーパーの鶏の卵を温めると孵化するよ」といわれ、実際にやってみたら、本当に孵化が始まったのがきっかけでした。

後から知りましたが、市販の鶏の卵には数%の確率で有精卵が混じっていて、孵卵器に入ればヒナが孵化する場合があるそうです。



▲飼いはじめて2年目を迎える「うず」くん



●「うず」くんについて教えてください。

鶏は警戒心がとても強いと言われていますが、「うず」くんはとても人懐っこい性格で、手を出すと喜んで飛び乗ってきます。

寒さには弱いので家の中で飼っていて、カゴから出すと元気に家中を走り回っています。

月替り連載企画 **我が家のペット**【第1弾】

「スーパーで買った鶏の卵から生まれました」

このコーナーでは、農家の飼っているちょっぴり珍しいペットを紹介します。

鶏の「うず」くん

飼い主 長万部町 木村 雅資さん

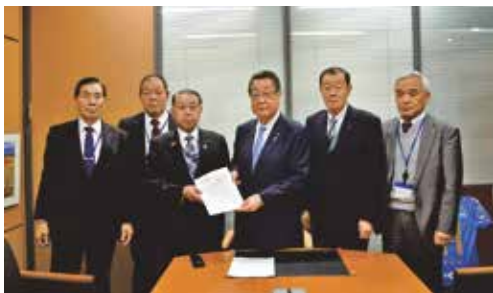
JA北海道中央会



JAグループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的なTPP等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す
JAグループ北海道要請団

JA北海道信連



JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JAグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稲と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、11月8日より「JA共済 有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプ」のダウンロードを開始しています。JA共済限定LINEスタンプの提供は、JA共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードする事ができます。



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日からYouTube上で公開を開始しました。動画の主題歌には榎原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・JAおよび全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道厚生連



令和元年11月30日(土)遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらおう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思ひます。



がんばれ!日本の農業



【トピックス】

管内各地の旬な情報をお届けします。



知内

課題を書き出して討議するグループ

効果的な水田除草を
水稲除草をテーマに
技術検討会

知内支店生産資材課は12月12日、個々の課題を基に最適な水稲除草体系を見出し、生産アップにつなげようと技術検討会を同支店で開いた。生産者約20人の他、ホクレンや系統農薬メーカーがアドバイザーとして参加した。

当JA職員は今年の気候変動や除草剤試験の結果、成分説明を加えながら、除草剤選びのポイントなどを解説した。また、取りまとめの活用や「担い手直送規格」など、「コスト低減策」も紹介した。



知内

創作料理を採点する審査員

知内支店女性部は12月12日、第9回知内生活工夫展を知内町で開いた。地元食材を使った地場産料理部門や手芸などのリフォーム部門、漬物部門の他、同町特産のニラを使ったニラ料理部門など合わせて75品の料理や手芸品が並んだ。最高賞の町長賞には、知内特産「北の華」ニラ、卵、油揚げ、シメジを使用した「ニラ料理部門のニラと卵の巾着煮」が選ばれた。

審査終了後、部員らは昼食を食べながら交流を深めた。



手料理や手芸品を披露
第9回知内生活工夫展



大野

「太巻き」づくりを楽しむ部員と参加者

北斗市女性部は11月下旬、北斗市で「農家の母ちゃん教える手作り体験教室」を開いた。

部員が講師になり、伝統食の「くじらもち」「太巻き」のコースに分かれ、地域住民32人に作り方のコツなどを教えた。

参加者は「また参加したい」「早速家で作ってみる」などと話し、楽しそうに料理作りを体験した。その他、部員が作った新鮮野菜やいんげんも販売し、用意した品はほぼ完売した。



くじらもち、太巻きを教える
「農家の母ちゃん教える
手作り体験教室」



若松

井出さんに教わりながらスープカレー作りをする児童

若松支店は11月下旬、食育教室「せたなの食を知ろう! 作ろう! 食べよう!」をせたな町の北松山小学校で開いた。

同町の高橋洋平さんが養豚業の仕事内容や、「若松ポークマン」の特徴などを児童らに教えた。管理栄養士の中居香織さんは、食事の栄養バランスと豚肉の栄養について説明した。その後、スープカレー店「札幌らっきょ」などを展開する井出剛さんに地元食材を使ったスープカレー作りを教わった。



今回で4回目の食育教室
「せたなの食を知ろう!」
作ろう! 食べよう!

【担い手活動紹介】第70回渡島青年農業者実績発表大会

令和元年12月12日（木）、北斗市農業振興センターで第70回渡島青年農業者実績発表大会が開催され、関係機関を含め83名が参加しました。現在、道南には4Hクラブが4組織あります（表1）。それぞれプロジェクト活動や視察研修、体験指導、学習活動等で19～40歳の農業者が頑張っています。大会では、（1）大野農業高校生による特別発表、（2）4Hクラブによるプロジェクト活動発表、（3）クラブ員によるアグリメッセージ発表、（4）各4Hクラブの活動報告がおこなわれました（表2）。

とくに単年・複数年の活動をまとめ上げたプロジェクト発表、就農までの経験や就農後の夢や抱負を述べるアグリメッセージ発表は青年の熱い想いが込められており、審査をする側も真剣に聞き入り、質問やアドバイスが送られました。最優秀賞・優秀賞を受賞した発表は、令和2年1月28日～29日に開催される北海道青年農業者会議に渡島代表として活躍が期待されます。

表1 道南で活動する4Hクラブ

名 称	活動市町	人数
北斗市4Hクラブ	北斗市	17人
七飯町4Hクラブ	七飯町	8人
知内町4Hクラブ	木古内町、知内町	14人
やくも4Hクラブ	八雲町	12人



写真1 発表の様子



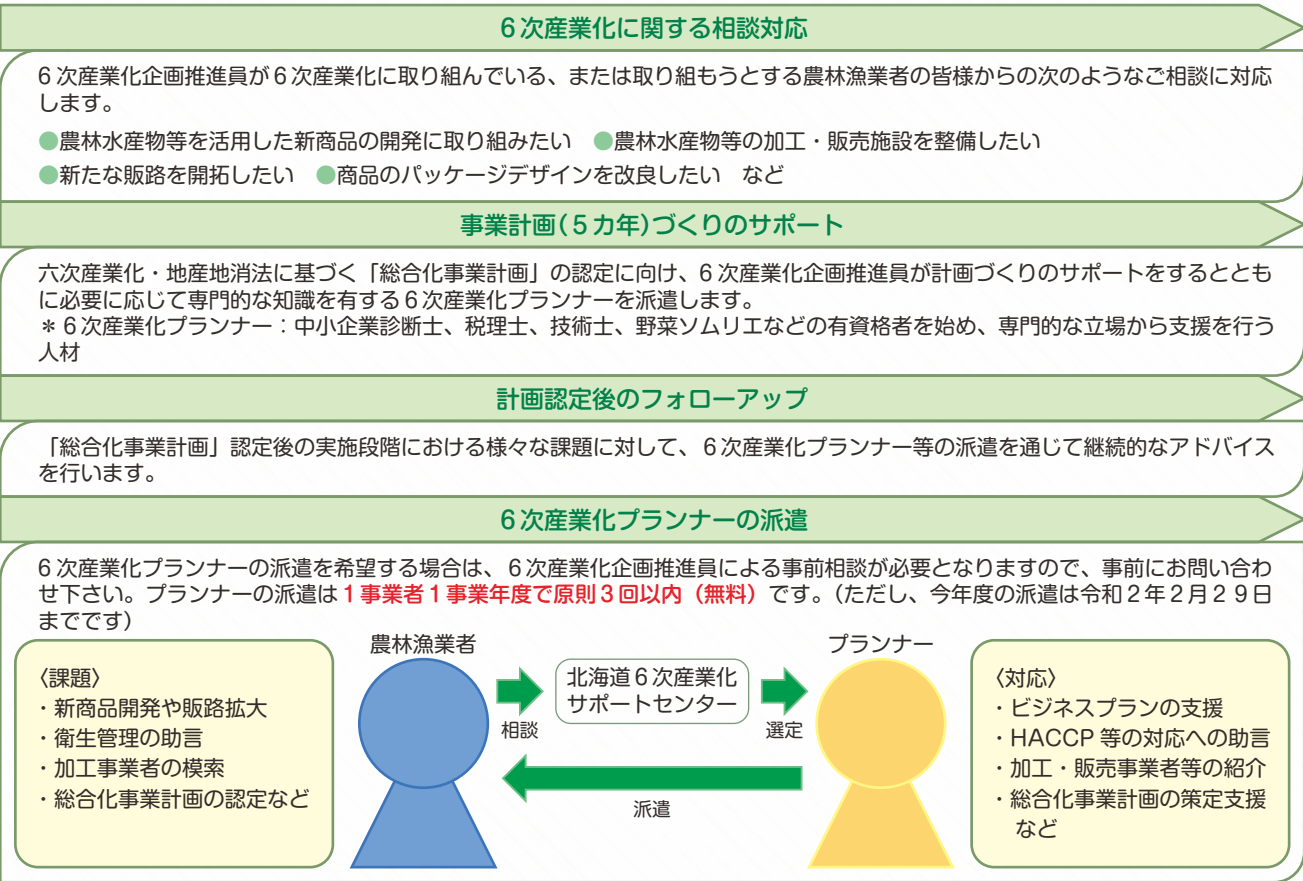
写真2 受賞者（左から手塚和宏さん、山本翔さん、舟田佳佑さん、長内慶太さん）

表2 大会で行われた発表者名・演題・内容・審査結果

参加部門	参加部門	参加部門	参加部門
特別発表	大野農業高校 乳加工班3年生	○チーズを日本の食卓に ～チーズをひろめ隊が行く～	—
プロジェクト発表 園芸特産作物	七飯町4Hクラブ 浅野孝義さん	○続・ストップ！連作障害 ねぎの連作による萎凋病増加の対策としてチャガラシや連作障害資材による効果をもとめて考察	
プロジェクト発表 畜産経営	やくも4Hクラブ 舟田佳佑さん	○3つのFで繁殖改善にトライ！ Foot・蹄（蹄病の治療）、Feed・餌（餌の改善）、Find・発見（発情発見の改善）についての取り組み経過と結果をまとめて考察	プロジェクト 優秀賞
プロジェクト発表 畜産経営	知内町4Hクラブ 手塚和宏さん	○見ればわかる！～繁殖管理情報の見える化プロジェクト～ 家族経営の中で繁殖改善に取り組むために、情報管理の工夫や安価に自作装置を作成して発情発見に挑み、結果をまとめて考察	プロジェクト 優秀賞
プロジェクト発表 地域活動	北斗市4Hクラブ 小笠原正人さん	○落花生食育プロジェクト クラブ員による地元の小学生を対象とした、落花生のは種作業や収穫作業の体験指導や出前授業について計画・実践・反応をまとめた	
プロジェクト発表 地域活動	七飯町4Hクラブ 山本翔さん	○涙のネギ食えスト 色々な人や組織と関係を築き上げ、七飯町産長ねぎのブランド化、長ねぎのたれの商品化、道の駅での長ねぎPRについて、数カ年の取り組み経過を総括した	プロジェクト 最優秀賞
アグリメッセージ	知内町4Hクラブ 長内慶太さん	○「人」 就農する前に感じていた農業への想い、家族状況の変化、就農後に感じている家族や仲間とのつながりのありがたみや抱負を語る	アグリメッセージ 最優秀賞
アグリメッセージ	七飯町4Hクラブ 野澤俊樹さん	○農家嫌いだっ私の今 農業を継ぐことを嫌い、他産業に従事した経験、就農後に4Hクラブや地域の仲間とのつながりの中でやり甲斐や今後の抱負を語る	

「北海道6次産業化サポートセンター」って!?

北海道6次産業化サポートセンターでは、農林漁業者の6次産業化を推進するため、道内農林漁業者等からのご相談に応じ、6次産業化に関する取り組みや新商品開発・販路拡大等に関するアドバイス等を行うとともに、六次産業化・地産地消法に基づく「総合化事業計画」の作成支援及びその認定後のフォローアップ等を行っています。お気軽にご相談下さい（ただし、今年度の事業期間は令和2年3月24日までです）。



<問合せ先> 北海道6次産業化サポートセンター
（運営機関：（公財）北海道中小企業総合支援センター）
電話番号：011-200-0013 受付時間：9:00～17:30（土・日・休日年末年始を除く）
ホームページ：https://www.h6sc.net/ メールアドレス：support6@hsc.or.jp



普及センター主催の高付加価値化研修会



研修会講師の6次産業化サポートセンターの抜山氏



個別相談の対応

企画管理・信用共済委員会視察研修

- ◆日程：令和元年11月13日（水）～11月15日（金）
- ◆参加者：輪島組合長、西村常務、春山委員長、伊勢谷理事、小笠原理事、松本理事、舟田理事、加藤理事
- ◆事務局：新谷部長、山田部長

JAいわて平泉・JA前橋市

両JAは信用・共済事業のウエイトが非常に高い都市型JAであり、マイナス金利政策の長期化による影響を大きく受け、信用事業を中心に収益力低下が課題とされてきました。支店再編や営農施設再編などのJA経営の再構築に向けた取組みは、今後の当JAの第6次中期経営計画策定に向けて、大変参考になることが多く、信用事業の持続と総合事業JAとして将来に亘り存続していくためにも、経営基盤・経営機能の見直し・再構築が必要不可欠であることを再認識しました。

東京シティ青果株式会社

平成30年10月11日に開場した豊洲市場を見学し、青果物の鮮度維持のための温度管理や衛生管理、スムーズな搬入搬出による効率的な物流の実現方法などを学びました。



▲JA いわて平泉 本所



▲豊洲市場

営農販売・経済委員会視察研修

- ◆日程：令和元年11月25日（月）～11月27日（水）
- ◆参加者：田中専務、二本柳常務、平田委員長、高瀬副委員長、山下理事、丹保理事、時田理事、森理事、浅野理事、岡崎参与、笠松参与
- ◆事務局：南部長、上村課長

株式会社 井関松山製造所

1926年創立以後農業機械の総合専門メーカーとして農業の近代化に貢献し、高齢化等の農業環境を踏まえ、井関グループが持つ高い技術力等の強みで豊かで持続可能な社会実現に向けた取り組みについて学びました。



▲井関松山製造所

農業生産法人「株式会社ファーム咲創」/ JAおちいまばり

JAおちいまばり管内での生産意欲の低下と遊休農地・耕作放棄地の増加が懸念される状況から平成24年に「株式会社ファーム咲創」を設立。通年での農業生産を通じ人材育成、労働力支援、農地の流動化に貢献しており、これら運営に係る意見交換を行いました。



▲JAおちいまばり

長万部町 川瀬チーズ工房

開設3年足らずでの快挙 ～乳の甘味が高評価～

農林水産
大臣賞
受賞

ナチュラルチーズコンテスト



▲賞状を手にする昭人さんと、妻の美和（左）さん
2016年に6次産業化の認定を受け、翌年春に直売店舗を併設し工房をオープン。以来、実家の生乳を使用したチーズ作りに向き合っている。

中央酪農会議が10月に開いた国内最大級のチーズ品評会「第12回オールジャパンナチュラルチーズコンテスト」で、長万部町の川瀬チーズ工房が最高位の農林水産大臣賞に輝きました。工房開設3年足らずでの快挙。

「自分のチーズの客観評価が知りたかった」とエントリーを希望し、全国86工房、203点の頂点に立ちました。

受賞作の「フリル」は・・・

ハード熟成6ヵ月未満のチーズ。専用の削り器でフリル状に薄く削って食べるのが特徴。最終審査では「乳の甘味がとてもよく出ている」など、高い評価を受けました。また、同時出品の「長万部ウォッシュ」も金賞に入るダブル受賞となりました。

受賞後の気持ちを聞かせてください

まだ自分が納得できるレベルには達していませんので、これからも精進し、さらに上を目指します。

■川瀬牧場

約45haの飼料畑で牧草を作り、収量や栄養バランスを向上させる為、年10%の割合で草地更新を実施しています。

現在、4代目の昭市さん（昭人さんの父）と2004年に就農した直人さん（昭人さんの兄）が2人3脚で牧場を切り盛りしています。

長男の直人さんは、地域の酪農を絶やしてはいけないと、北海道農業士の資格を得て、新規就農者へのアドバイスをを行う、酪農指導員としても活躍しています。



プレゼント クイズの正解者の中から抽選で**③**名様に、以下の**③**種類からお好きな商品を**③**袋お送りします。希望のプレゼントをご記入ください。



あて先 クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて本店 農業振興部 宮農課
FAX:0138-77-5563
E-mailアドレス shouta.horiba@ja-shinhakodate.com

↓応募用紙はこちら(切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)
応募締め切り 2月19日(水)(当日消印有効)
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせていただきます。

こたえ

ご希望のプレゼント 農協ラーメン・あっさぶの豆
※右記のいずれか1つに○を付けて下さい あっさぶメイクインごろっとカレー

〒 -

住所

氏名 年齢 才 TEL - -

ペンネーム

組合区分 正組員・准組員・その他 ※○を付けて下さい

コメント ※広報紙へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。



Q. 今月号のえすぽわーの中から答えを探してください!



11月下旬に行われた「農家の母ちゃんが教える手作り体験教室」では、伝統食の「くじらもち」と「○○○」を作りました。
「○○○」に入る食べ物は何でしょう?
※ヒント:6ページのトピックスをご覧ください。

特殊詐欺防ぎ、感謝状

昨年10月に、七重浜支店窓口担当の大久保智子係長が高齢女性から200万円の現金を騙し取ろうとした特殊詐欺を未然に防ぎ、1月15日に函館中央警察署長から感謝状が贈られました。
大久保係長は「被害を未然に防げて良かったです。JAを信頼し、こちらの問いに正直に答えてくれたことが嬉しいです」と話しました。



※感謝状を手にする大久保係長と櫻庭署長(左)、湊支店長(右)

地区別農業法人設立研修会

令和元年度(2019年度)

- 研修項目(案)
- (1) 道内における農業経営の法人化の状況(北海道農政部)
 - (2) 農地制度の基本・農業法人制度の概要(北海道農業会議)
 - (3) 農地所有適格法人設立の流れ(北海道農業会議)
 - (4) 農業法人が活用できる制度資金等(日本政策金融公庫)

参加を希望される方は、令和2年2月17日(月)までに最寄りの支店までお願いします。(申込書は各支店に置いてあります。)

主催:北海道農業法人化等支援協議会(事務局:北海道農政部農業経営課、北海道農業法人協会)

協力:渡島総合振興局、檜山振興局、渡島農業改良普及センター、檜山農業改良普及センター

開催日時・場所

日時
令和2年2月25日(火)
10:30~14:30
(昼休憩あり)

場所
今金町民センター
(今金町字今金68)

理事会開催報告

第12回理事会議案(定例)

●日時/令和元年12月20日(金) 10時30分
●場所/北斗市総合分庁舎

報告事項

- (1) 組合員の異動について
- (2) 理事者への貸付実行の報告について
- (3) 中央会経営監査結果について
- (4) 第3回定期監査結果について
- (5) 会計監査人の再任について
- (6) 令和元年度(平成31年度)収支見込(JA新はこだて11月末現在)について
- (7) 令和元年度(平成31年度)収支見込(概算はこだて協同11月末現在)について
- (8) 令和元年度木古内地区農業基盤整備資金及び担い手育成農地集積資金の借入について
- (9) 令和1年度施設米・特定米穀概算金の設定について
- (10) 令和元年度・平成31年度 営農販売・経済委員

議案

- 第1号 令和元年度(平成31年度)決算棚卸及び棚卸抽出検査の実施について
- 第2号 女性参与設置規程の一部変更について
- 第3号 第3回定期監査に対する回答について
- 第4号 理事に対する令和2年度組合員勘定供給限度額等及び物品取引契約の限度額について
- 第5号 令和2年度役員報酬額の諮問について

理事会開催報告

第13回理事会議案(定例)

●日時/令和2年1月27日(月)13時00分
●場所/花びしホテル

報告事項

- (1) 第8・9・10回内部監査報告について
- (2) 職員の退職について
- (3) 組合員の異動について
- (4) 委員会の開催について

- ①第3回農家経営再建対策特別委員会 ②第2回地区運営委員長会議 ③第4回企画管理信用共済委員会 ④第6回ALM委員会 ⑤JA新はこだて安心青果物取扱基金諮問委員会 ⑥第4回営農販売・経済委員会
- (5) 固定資産(土地)処分進捗状況について
- (6) 令和元年度(平成31年度)収支見込(JA新はこだて12月末現在)について
- (7) 令和元年度(平成31年度)収支見込(概算はこだて協同12月末現在)について
- (8) 令和元年度通常総代会までの主要スケジュールについて
- (9) 令和元年度(平成31年度)購買品取扱奨励金の支払について
- (10) 自給飼料生産性向上対策支援事業実績について
- (11) (株)新はこだて協同の業務執行体制について

議案

- 第1号 令和2年度事業計画基本方針(案)について
- 第2号 令和2年度役員報酬額の決定について
- 第3号 減損会計に係るグループ方針の一部変更について
- 第4号 役員責任調査委員会設置要領の一部変更について
- 第5号 財務管理規程の一部変更について
- 第6号 令和2年度余剰金運用(案)について
- 第7号 令和2年度余剰金預け先金融機関について
- 第8号 令和2年度余剰金運用計画および運用方針(案)について
- 第9号 資産の償却・引当基準の一部変更について
- 第10号 自己査定マニュアルの一部改正について
- 第11号 令和2年度経営定期点検実施計画の策定について
- 第12号 令和元年度回収不能債権に係る貸倒償却及び利息減免について
- 第13号 令和2年度金融機関貸付方針(案)について
- 第14号 令和2年度地方公共団体に対する貸付に係る事前承認について
- 第15号 令和2年度理事者に対する共済・貯金担保貸付に係る包括事前承認について
- 第16号 令和2年度営農販売・購買事業における料金・料率の設定(案)について
- 第17号 令和2年度内部監査計画(案)について
- 第18号 令和2年度事業計画(取扱・収支)(案)について
- 第19号 令和2年度事業計画(固定資産取得・処分)(案)について
- 第20号 令和2年度中期経営計画における主な施設整備計画について

第22回 道南農業新技術発表会

道南農業試験場などが開発した最新の農業技術等を、いち早く皆様にお伝えします。

日時 令和2年2月26日(水) 13:00~16:00(受付 12:30~)

場所 北斗市農業振興センター
(〒041-1214 北斗市東前74番地の2 TEL:0138-77-7667)

内容 ●道南地域に効果的に適応できる新たに開発された新品種や技術
●渡島農業改良普及センターの活動報告

参加
無料

お問い合わせ先 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 道南農業試験場 TEL0138-77-8116

シェフ永井の おすすめ



永井智一
(ながい ともかず)

茨城県笠間市にある
「キッチン晴人(ハレジン)」オーナーシェフ



今月のおすすめ

レシピ1
カブと鶏肉のあんかけ

レシピ1

カブと鶏肉のあんかけ

材料(2人分)

- 鶏モモ肉..... 150g程度
- 刻んだカブの葉..... 適宜
- すりおろしたユズの皮..... 適宜
- カブ(皮をむき半分に切る)..... 2個分
- 昆布だし(1)..... 3カップ
- 酒..... 1/4カップ
- サラダ油..... 小さじ1
- 水溶き片栗粉..... 小さじ1と 1/2
- 塩..... 適宜

作り方

- (1) 5cm幅に切った昆布1枚を3カップ程度の水に1晩漬け、昆布だしを取る。
- (2) フライパンにサラダ油をひき、一口大に切った鶏モモ肉を入れ、焼き色を付ける。
- (3) 別鍋にカブ、昆布だし、酒と塩ひとつまみを入れ中火にかける。
- (4) カブが軟らかく煮えたら焼き色を付けた鶏肉を加え、ひと煮立ちさせる。水溶き片栗粉でとろみをつけ、カブの葉を入れる(味が薄いようなら塩で味を調える)。
- (5) 器に盛り付け、仕上げにすりおろしたユズの皮を散らし出来上がり。

編集後記

2～3年前まで、年に数回程度ですが友人と麻雀をやっていました。しかし地元からいつものメンバーがいなくなったことをきっかけに、麻雀をやる機会がなくなってしまいましたが、最近、初心者にも声をかけメンバーを集めてやるようになりました。麻雀は世代の壁なく楽しめる良い遊びだと思えますので、麻雀を知らない人にどんどん勧めていきたいと思えます。ルールは全部知らなくても楽しめますよ。

(翔)

facebookページ更新中!

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。



JA新はこだて facebook 検索

まるめ郎アルバム



八雲町で「金太郎ラーメン」を初めて食べました。ラーメンも美味しいけど、真ん中にトッピングされたホルモンが柔くて、甘くて最高!! 次は「カツ丼」を食べてみようかな。

緊急時のご連絡先

※業務時間内
(平日9時～17時)には
ご契約の支店にご連絡ください。



お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
(JA共済事故受付センター)

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。